

授業科目	眼科学Ⅰ・Ⅱ（講義・演習、演習・実習）（眼科専門医）（臨床専門医コース）		
取得する専門医の名称	日本眼科学会 眼科専門医		
区分・単位	講義・演習 2単位×2 演習・実習 4単位×2	関連分野等	神経内科・耳鼻咽喉科・脳外科・小児神経・精神神経病態
年次・期別	1年次－2年次 (場合によっては3年次、4年次まで)	曜日・時限	(講義・演習) 概要を参照 (演習・実習) 月－金曜日 終日
教室	眼科学分野研究室、眼科外来・病棟・手術室	担当者電話番号	086-235-7297 (白神)
担当教員	【研究科】教授：白神史雄 准教授：松尾俊彦 助教：木村修平 【病院】講師：森實祐基、内藤知子 助教：濱崎一郎		
一般目標	眼科学に関わる広い学識と高度の専門技能を取得し、眼科専門医としての素養を修得する		
到達目標	専門医認定試験の受験資格である（1）一般初期救急医療に関する技能の習得（2）眼科臨床に必要な基礎的知識の習得（3）眼科診断、ことに検査に関する技能の習得（4）眼科治療に関する技能の習得（手術については、執刀者、助手を合わせて総数100例以上、そのうち、外眼手術、内眼手術、及びレーザー手術が、それぞれ執刀者として20例以上）（5）症例検討会、眼病理解説会および抄読会等の出席（6）眼科に関する論文を単独または筆頭著者として1篇以上および学会報告を演者として2報以上発表		
講義概要	<p>(1) 卒後必修研修2年の終了後、それに続く2年のうち1-2年の研修を行わなければならない「眼科研修プログラム施行施設」である岡山大学病院（認定番号1003）で、専門医制度で定められている専門6分野と他科診療連携についての研修を進める。</p> <p>(2) 外来で、眼科の諸検査を行い、その技術を習得し、検査結果の解釈ができるようになる。</p> <p>(3) 病棟で、チームを組んで、入院患者を担当医として受け持ち、術前、術中、術後の管理について学ぶ。（白神、松尾、森實、内藤、木村、濱崎）</p> <p>(4) 手術室では、手術助手を行い、さらには、指導医のもと、部分執刀から始め、手術手技を習得する。</p> <p>(5) 毎週木曜日 17:00-18:30 の教授回診および術前カンファレンスに参加し、手術適応・術後管理について習得する。（白神、松尾、森實、内藤、木村、濱崎）</p> <p>(6) 毎週木曜日 18:30 からの学会発表練習会、抄読会では、司会と発表を順番に担当し、科学的な質疑応答、発表方法、発言態度を会得する。（白神、松尾、森實、内藤、木村、濱崎）</p> <p>(7) 眼科大学院セミナー（木曜日夕方毎月1回）、臨床専門医コース共通の大学院講義（医療倫理学、医療統計学、医療経済学など）、大学院共通の講義に出席し、科学的思考法と方法論を学ぶ。（白神、松尾、森實、内藤、木村、濱崎）</p> <p>(8) 岡山大学または岡山県眼科医会が主催する「日本眼科学会専門医制度の生涯教育認定事業（定期）」である以下の会に出席し、眼科臨床の最新の知識を吸収し、場合によっては自ら発表する。年2回の岡山大学眼科研究会（認定番号59086）、年1回の岡大眼科学教室学術講演会（認定番号59134）、年2回の岡山県眼科専門医会「生涯教育講座」（認定番号59140）、年1回の岡山眼科フォーラム（認定番号13782）。</p> <p>(9) 日本眼科学会総会、日本臨床眼科学会、日本眼科手術学会などの全国規模の学会に参加し、眼科臨床の最新知識を学び、他大学との交流を行い、場合によっては自らの研究を発表する。</p>		
テキスト・参考書等	眼科学の教科書、英語の専門図書、日本語雑誌、英文の国際雑誌（すべて眼科医局図書室に完備）		
成績評価基準 成績評価方法	臨床現場（外来、病棟、手術室）において、診断、治療について議論する。 臨床研究のテーマについて、担当教員と随時討論し、研究を遂行し、論文としてまとめる。		
研究活動との 関連	眼科専門医を目指した臨床教育の中で、臨床研究に従事し、臨床における科学的思考と科学的方法論の重要性が理解できる。		

基礎実習	<p>医学統計解析 論文の読み方、英文論文の書き方</p>
臨床実習	<p>症例提示 外来実習（眼科の諸検査の習得—光干渉断層計、蛍光眼底造影、超音波検査、両眼視検査、視野検査） （網膜光凝固術、後発白内障手術[YAG レーザー]の習得） 病棟実習（眼底の見方、細隙灯顕微鏡の使い方） 手術室実習（白内障手術、緑内障手術、斜視手術、網膜硝子体手術、角膜手術の助手） （白内障手術の段階的習得）</p>
症例検討会	<p>毎週木曜日 夕18:00-18:30</p>
講義内容	<p>日程は未定だが、以下の内容について講義を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非接触眼圧測定、オートレフ測定、視力検査、レンズメータ測定 ・眼軸長測定、角膜曲率半径測定、眼内レンズ度数計算法、角膜内皮測定 ・硝子体注射 ・細隙灯顕微鏡、眼底検査、写真撮影、エコー検査 ・眼科麻酔法 ・屈折検査、調節検査 ・眼鏡処方、コンタクトレンズ処方 ・隅角の見方 ・各種眼圧測定法 ・塗抹培養検査法、異物除去法 ・涙液検査、涙液検査法、涙嚢・涙道検査法、眼球突出計測 ・光線力学療法 ・眼内レンズ決定法 ・斜視検査法 ・眼内タンポナーデに用いるガス、シリコン、硝子体手術補助剤 ・OCT 検査 ・蛍光眼底検査 ・視野検査 ・ヘス赤緑検査、眼球運動の見方
本年度参加が望ましい学会等	<p>日本眼科学会、日本臨床眼科学会</p>